

# KYOTO 版画2017

## 第6回運営委員会

日 時 ●2018年1月14日(日) 13:00~17:00

場 所 ●京都教育文化センター102

出席: 朝日、黒崎、片岡、齋藤、片岡、千明、ツツミ、野嶋、花原、日高、武蔵、三田村

### 議事

#### 1. 会員の動向

##### 【退会希望】

大本ありさ(福岡)→承認 三浦真衣(宮城)→承認

#### 2. 2018年度新事務局について

・事務局長 武蔵→三田村 ・各担当の再配置(役割分担表 参照)

#### 3. 閉会までの資金繰りについて(花原)

- ・京都十景の10集目(百景)記念と閉会パーティーを合わせて開催する。
- ・京都十景の売上収益が期待できない状況なので、予算の見通しを立てる必要がある。
- ・会費を半額するという意見もある

#### 4. 京都十景の今後について

- ・今回の第7集は17部の売上。第3集、第4集も1部ずつ売上。
- ・在庫作品をどうするか → 地域展の各会場で紹介する等して、アピールの機会を増やす。

#### 5. 地域ブロック展の経過

<九州展>6/5-6/10 山本文房堂ギャラリー

- ・賛助出品: 黒崎、齋藤、坂爪 ・挨拶文: 黒崎
- ・国際展図録: 各3冊: 黒崎(終了後 返却) 1冊1,000円 ・京都十景も紹介

<京滋>10/16- <阪奈+兵庫>10/19-

- ・日本版画協会の名前を出さない様にする。

#### 6. カナダ展 作品返却

- ・73点返却 1/16(火)15:00より返送作業(事務局)
- ・カナダ側からのレポート無し ・カタログ40冊分の費用請求(武蔵)

#### 7. JARFO小品展(片岡) ※別紙参照

- ・前回からの変更点: サイズと点数・DMデザインの確認
- ・搬入3/4 総会+研究会後(17:00-19:00)懇親会(19:30-)
- ・クロージングパーティーを最終日14:00-

#### 8. その他

- ・総会 3/4(日)京都文化芸樹会館 ・次回運営委員会 2/11(日)京都教育文化センター



<http://kyo-pec.org>

版画京都展実行委員会

Kyoto Print Exhibition Executive Committee

事務局 坂爪厚生 TEL&FAX 075-956-6910

〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町大山崎谷田 77-6

e-mail: a-sakazume@kyoto.zaq.ne.jp

2017 年度 第 7 回運営委員会 議事録

日 時 ● 2018 年 2 月 11 日 (日) PM 1:00~5:00  
場 所 ● 京都教育文化センター 102 号室  
出席者 : 伊藤、汾陽、黒崎、坂爪、ツツミ、花原、ふじい、三田村、武蔵 (あいうえお順)

議題

1. 会員の動向  
特になし

2. 2018 年度新運営委員役割について

- ・目良氏が総務を担当する関係で、汾陽氏には書類発送と京滋ブロックリーダーの兼任を依頼し、了解を得た。
- ・オーストラリアお返し展のスタッフとして、伊藤氏と清水氏に依頼する。リーダーは伊藤氏に依頼し了解を得る。
- ・図録ストックのリーダーには黒崎氏に依頼し、了解を得る。齋藤氏には引き続き京都十景の在庫管理を中心に継続担当する。

3. オーストラリアお返し展について (武蔵氏) 別紙資料: オーストラリアお返し展について参照

- ・オーストラリアお返し展について、トリー・チャーズ氏から提案があった。しかし内容に下記の問題点があり、再度、武蔵氏から提案し、返信を待つ。

- ① タイトルの“紙の饗宴”というのはおかしい。それなら“版画の饗宴”の方が良い。
- ② 開催期間は、選択 2 の 11 月中旬が良い。
- ③ 20 名のプロの日本人作家とあるが、会員の中から 20 人を選択することはできない。1 人 1 点の出品になっても、全員出品することが基本である。
- ④ 額装で送ることはできない。
- ⑤ JADA との同時開催は、作品が倍要ることになるので無理。巡回展なら良い。
- ⑥ 作品返却の費用は、主催者側で負担する。

以上の点を再度、武蔵氏からオーストラリア側に再提案する。

再提案の結果、お返し展が実現するか否かわからないが、実現するものとして対応を考えていく。

- ・議題2で述べたように、専門のスタッフとして伊藤氏、清水氏に依頼した。
- ・お返し展は、京都でのオーストラリア展に出品した会員に参加する権利があり、その時の参加者に参加の意思を確認し、最終何点になるか把握する。

#### 4. 2018年度事業計画 別紙 版画京都実行委員会 2018年度 事業計画 参照

- ・オーストラリアお返し展の準備は6月からとする。
- ・ニューズレターの発行は2月とし、総会の案内時に同封して配布する。
- ・運営委員会は4月、6月、8月、11月、1月の5回とする。
- ・兵庫・阪奈ブロック展の日程は10月4日から9日までに変更となった。

#### 5. 2017年度会計報告（途中経過） 花原氏 別紙決算報告書参照

- ・花原氏より決算報告書の説明があった。
- ・未納者状況に関しては、年度後に退会されていても年度分は徴収するべく請求する。  
特に2年滞納されたまま除名された場合も請求は続ける
- ・支出のニューズレター発行費は23、24の2刊分
- ・斜体になっている分は未払い分
- ・一旦京都十景に貸し付けた分は2023年までに返金してもらって清算する。

#### 6. その他

- ・中部地区のブロック展は、参加者が少ないため、どこかと合流するか、自分たちだけで中部で開催するか、持ち帰って検討する。
- ・2023年の京都十景展は、京都市後援を得て開催する。  
開催場所について、京都文化博物館は費用が高額なため、京都市別館を検討する。
- ・各ブロック展には、今までの海外展の図録を置き販売する。それについては黒崎氏が管理する。

（文責：三田村）